

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理を依頼されるときは

- 1 異常があるときは使用をやめてください。
- 2 お買い上げの販売店(工事店)に次のことをお知らせください。

- 品名：投光器
- 形名：(本体貼付の器具銘板に記載の形名)
- お買い上げ日(年月日) ・ 故障の状態 (具体的に)
- ご住所(付近の目印も合わせてお知らせください)
- お名前 ・ 電話番号 ・ ご訪問希望日

便利メモ お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名 _____
 電話 () _____
 お買い上げ日 _____年 _____月 _____日

保証について

- 保証期間…お買い上げの日から1年間です。保証書が必要な場合は販売店(工事店)までお申し出ください。

保証の免責事項

- 免責事項につきましては、保証書、またはカタログをご参照ください。

仕様

形名	DL-EL15N-S
器具光束	4500lm
光源	昼白色LED(5000K)
定格入力電圧	AC100V～242V
電源周波数	50Hz/60Hz
定格消費電力	33W(100/200V)/34W(242V)
照射ガラス	強化ガラス (透明)
外形寸法	幅169mm、奥行236mm、高さ45mm
口出し線	キャプタイヤケーブル0.75mm ² ×3芯 器具外1.5m
質量	約0.9kg(ケーブル1.5m除く)
使用周囲温度	-30～40℃
使用周囲湿度	85%RH以下

- 印刷物付属品 (1部) 本説明書*

*当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はありません。
 This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

お問い合わせ先

メールでのお問い合わせなど
 [シャープサポートページ] <http://www.sharp.co.jp/support/>

使用方法のご相談など
 [お客様相談室]

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル **0120-508-562**
 携帯電話からは、ナビダイヤル **0570-550-189**

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用できない場合は 050-3852-5405 FAXの場合 06-6792-5993
 ■ご相談受付時間(年末年始を除く) 月曜日～土曜日/午前9時～午後6時 日曜～祝日/午前9時～午後5時

シャープ株式会社 本社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

SHARP®

投光器 (屋外形)

工事説明書および取扱説明書



形名
ディーエル イーエル エヌ エス
DL-EL15N-S

お客様へ

- この器具の施工には電気工事士の資格が必要です。取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- 一般の方の工事は法律で禁じられております。

工事店様へ

- 工事が終了しましたら、本説明書は、必ずお客様へお渡しください。

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。本説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。本説明書は、いつでも見ることが出来る所に必ず保存してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

- 誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、説明しています。

警告 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。

注意 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

- お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

してはいけないこと。

しなければならないこと。

警告

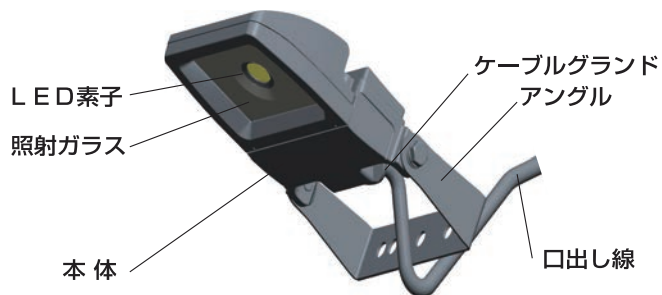
- 一般屋外用器具です。噴水などにより常時水のかかる場所、浴室などの湿気の多い場所、長期積雪のある場所、水中、振動や衝撃のある場所、粉塵や腐食性ガス、オイルミスト、硫黄成分や塩素ガスなどが発生する場所、海岸隣接地帯では使用しない。(絶縁不良、火災、感電、落下、サビの原因)
- 器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃やしやすいものを近づけない。(火災の原因)
- 被照射物と器具は50cm以下に近づけない。とくに絹、皮、布地など「色落ち」のおそれがある物に照射する場合は注意が必要。(被照射物の火災、変色、褪色の原因)
- 器具を分解・改造したり、部品を変更して使うことは絶対にしない。(器具落下、感電、火災の原因)
- 器具に他の荷重をかけない。(落下、感電、焼損の原因)
- 電線あるいは絶縁処理部に刃物などによる傷をつけない。(漏電、感電、火災の原因)

- 取り付けは、お買い上げの販売店、又は専門業者に依頼する。(一般の方の工事は法律で禁じられております)
- 器具のお手入れの際は、必ず電源を切って器具が十分に冷えてから行う。(やけど、感電の原因)
- 定期的にメンテナンスを行い、万一塗装剥離・金属腐食・煙・ネジの緩み・におい・チラツキ・不灯・異常音などの異常を感じられましたら、直ぐに電源を切って工事店・お買い上げの販売店に相談する。(感電、火災の原因)
- 設置工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、及び本説明書に従って確実に行う。[D種設置工事](感電、火災、ケガの原因)
- 取付方向は、本説明書にしたがって正しく施工する。(感電、火災、ケガの原因)
- 電源接続線は、本説明書の「器具の取付方法」に従っておこなう。(発熱、火災の原因)
- 交流電源をご使用ください。電源周波数は50Hz、60Hz共用です。電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている電圧±6%内で使用。(間違っているとLED電源ユニット、器具などの短寿命、火災の原因)
- 電源線を接続した後は、接続部の絶縁・防水処理(自己融着テープの使用等)を確実におこなう。(感電・火災の原因)

注意

- 器具の一部が破損したまま使わない。(落下、ケガの原因)
- 器具の下にストーブ、コンロなどの発熱物を置かない。(火災、落下、器具の変形、LED短寿命の原因)
- 器具を水洗い、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤、薬品、アルカリ・弱酸性・塩素系洗剤で拭いたり、殺虫剤をかけたらない。(器具の故障・変色・劣化・サビ、落下、感電などの原因)
- LED点灯時、および消灯直後は器具に触れない。(発熱、LED短寿命の原因)
- 器具を密閉した空間に設置しない。(発熱、LED短寿命の原因)
- 濡れた手で器具を取り扱わない。施工時の保護具使用。(感電、故障の原因)
- 金属部分をクレンザーやたわしで磨かない。(器具の傷、サビの原因)
- 周囲温度は、-30～40℃の範囲の周囲温度で使用するように、設計しています。(高温で使用すると火災、LED短寿命の原因)
- 器具への給電は、複写機等モータ使用機器とは分離ください。同一給電の場合は電源電圧の急激な変動で器具のチラツキが発生する場合があります。

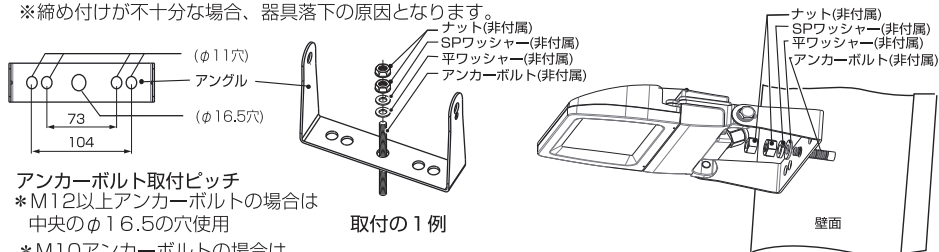
各部のなまえ



器具の取り付け方法

1 本体の取り付け方法

- 器具質量に十分耐えるよう、アンカーボルト取付部の強度を確保してください。下図の穴を利用してアンカーボルトを施工してください。
※ボルトの出しろ $2.5\text{mm} \pm 2\text{mm}$
- アンカーボルトに器具を取り付けてください。
※締め付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。



アンカーボルト取付ピッチ

- * M12以上アンカーボルトの場合は中央の $\phi 16.5$ の穴使用
- * M10アンカーボルトの場合は両サイド $\phi 11$ の穴使用

取付の1例

壁面取付の1例

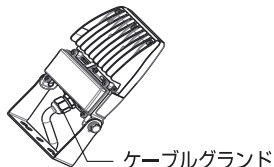
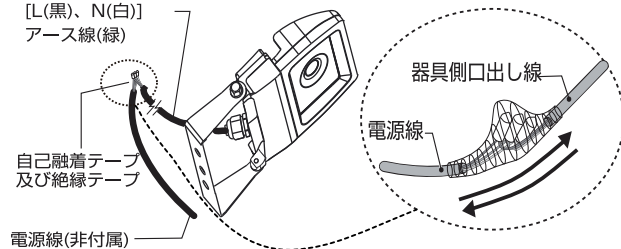
2 電源線の接続方法

- 口出し線と電源線の結線を行ってください。防水ジョイントボックスの使用、または口出し線外径 $\phi 9$ 、6 および、電源線外径に適合した防水中継コネクタの使用を推奨します。ジョイントボックスまたは中継コネクタを使用しない場合は絶縁性のテープで結線部各端末を絶縁処理した後に、下図の様にシース(外被)部からシース部まで自己融着性のテープで1往復以上テーピングし、さらに絶縁性のテープで巻き上げ、絶縁処理、防水処理を十分に行ってください。
(口出し線の接続は電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈12条に従ってください。)
- 不十分な場合は電線からの浸水による絶縁不良、不点灯、感電の原因となります。

- アース線はD種接地工事を行ってください。

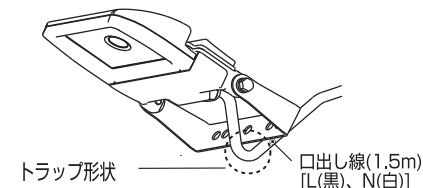
※取付アンクルや口出し線の根本部に接続する場合、ケーブルグランドへ負荷をかけないようにご注意ください。ケーブルグランドを損傷して水侵入する可能性があります。
※ケーブルグランドは緩めないでください。一度緩めると、締め直しても防水性が損なわれる事があります。(浸水による絶縁不良、不点灯、感電の原因となります。)

口出し線(1.5m)
[L(黒), N(白)]
アース線(緑)



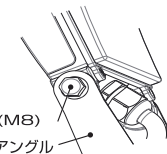
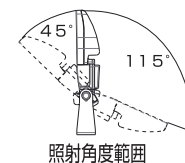
2

- 本体への水の侵入を防ぐために、右図のように配線をトラップ形状に線処理してください。



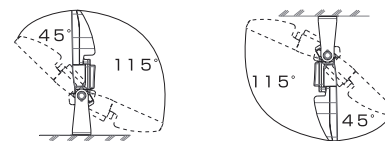
3 本体の照射角度調整及び壁面取付の取付方向

- アンクル取付ボルトの両側をゆるめて右図の照射角度範囲内で照射角度を調整してください。実際は両サイドとも右図角度より大きい角度で調整出来ますが、照射角度によっては壁面に直接照射する可能性があります。(発火、発煙の原因) 取付ボルトはゆるめすぎると脱落のおそれがあり器具落下の原因となります。
- 照射角度調整後、アンクル取付ボルトをしっかり締め付けてください。(推奨トルク $6\text{N} \cdot \text{m}$)
※締め付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

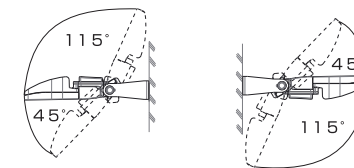


- 壁面取付の取付方向

① 水平壁面



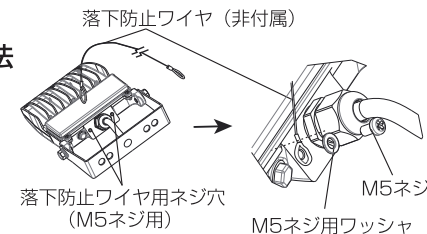
② 垂直壁面



4 その他

① 落下防止ワイヤ(非付属)を取付ける方法

- 本器への取付けの際には、右図のように落下防止ワイヤーをM5ネジとワッシャーで取付けてください。
- ナットに緩みがあった場合の為に、器具質量に耐える落下防止ワイヤーの取付をお勧めします。
- 落下防止ワイヤ、ネジ、ワッシャーは非付属です。
- 落下防止ワイヤの反対側は、M5ネジとM5ワッシャーで壁面等の丈夫なところに固定してください。



② 本体アンクル/鋼管、コンクリート柱への取付け方法

- アンクルのボルト穴を使用することによりUボルト(非付属)を用いて鋼管に取付け可能です。(サイズ確認の上施工してください)
- アンクルのボルト穴を使用することによりコンクリート柱用バンド(非付属)と架台(非付属)を用いてコンクリート柱に取付け可能です。
- アンクルの中央 $\phi 16.5$ の穴1か所を使用して取り付ける場合は、本体が回転しないようにSPワッシャー等(非付属)を使用するなど適切な緩み防止処理を行ってください。
※締め付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

